



北総鉄道株式会社
千葉ニュータウン鉄道株式会社

安全報告書 2025



安全報告書 2025

目次

1. 安全に対する基本方針	…P1
2. 2024年度 安全方針・安全目標・安全重点施策	…P1
3. 安全管理体制	…P2
・安全管理体制の主な管理者の体制図	
・管理者の役割	
4. 安全管理方法	…P3
・社長、安全統括管理者等の巡視	
・安全管理体制の評価(マネジメントレビュー)	
・安全に関する内部監査	
・安全推進会議	
・ヒヤリ・ハット	
・コミュニケーション	
・協力会社と一体となった安全管理体制	
5. 列車の安定輸送を実現するための取組み	…P5
・列車の運行管理	
・施設、車両の保守点検	
6. 安全確保に対する取組み	…P6
・安全への投資	
・駅の安全対策設備	
・車両の安全対策設備	
・その他の取組み	
7. テロ・防犯対策の取組み	…P1
・テロ等防犯対策	
・警察・消防との連携	
8. 災害対策	…P1
・災害対策設備	
・災害発生時の取組み	
・その他の取組み	
9. 安全に関する教育等	…P1
・教育	
・訓練	
・研修	
・講演会	
・乗務員への指導と健康状態の確認	
・その他	
10. 事故等の発生状況	…P2
・鉄道運転事故	
・輸送障害	
・インシデント	
11. ご利用のお客様へのお願い	…P2
・電車を安全にご利用いただくために	

ご利用の皆様へ

第1種及び第2種鉄道事業者
北総鉄道株式会社
取締役社長 **持永 秀毅**



平素より北総鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。また、当社鉄道事業運営につきまして、多くの皆様のご理解とご支援を賜りましたほか、2024年度も、大変多くのお客様が北総線にご乗車くださいましたこと社員一同こころより感謝申し上げます。

北総鉄道では、京成グループ行動指針である「私たちは、安全・安心を第一に行動します。」を念頭に、輸送の安全確保こそ鉄道事業の最大の使命であるとの認識のもと、全社員が一致団結し、たゆみなき安全性の追求に取り組んでおります。また、安全に関する基本的な考え方として「安全方針」を定め、安全管理体制の強化に努めた結果、2024年度におきましても開業以来の「有責事故ゼロ」を継続することができました。

一方で、「頻発化・激甚化する自然災害」、「鉄道設備等の老朽化」、「不安定な社会情勢に伴うテロの脅威」など、当社をとりまく経営環境は厳しさを増しているのも事実です。これら喫緊の課題に対しましては、各種協議会等へ積極的に参加し関係機関との連携を図り防災マネジメントの強化を図っているほか、中長期における老朽化設備等の計画的な補修・更新を推進し設備保全に努めております。また、大阪・関西万博の開催準備に伴う自主警戒警備の強化を図るなど、鉄道テロの未然防止に努めたほか、日頃より必要な訓練を実施し社員の現場対応力を強化するとともに、千葉県警察本部をはじめとする各関係機関との連携体制の強化に努めるなど、リスクの低減や備えに尽力しております。

これからも、お客様から信頼され、選んでいただける鉄道を目指し、また、沿線地域の皆様に貢献できるよう、京成電鉄及び千葉ニュータウン鉄道と連携し、更なる成長を目指して全力で取り組んでまいります。

本安全報告書は、鉄道事業法に基づき、2024年度中における当社の輸送の安全確保のための取り組みについて、自らが振り返るとともに、皆様に広くご紹介しご理解いただくために公表するものです。当社における安全の更なる向上のために、ぜひご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

第3種鉄道事業者
千葉ニュータウン鉄道株式会社
取締役社長 **持永 秀毅**

平素より千葉ニュータウン鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

当社は、北総線の小室駅～印旛日本医大駅間 12.5 ㎞の鉄道施設と、40両の車両を保有する第3種鉄道事業者であり、それらの設備を第2種鉄道事業者に賃貸しております。

当社は京成グループの一員として、グループ経営理念である「お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを安全・快適に提供する」ことを目標とし、グループ行動指針に掲げる「安全・安心を第一に行動する」ことを実践しております。

今後も、北総鉄道と連携し、輸送サービスの向上ならびに千葉ニュータウンのさらなる発展に貢献できるよう、輸送の安全確保に取り組んでまいります。

1. 安全に対する基本方針

お客様に安全、快適に当社線をご利用いただけるよう、私たちは「京成グループ経営理念」と「京成グループ行動指針」に基づき、安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、鉄道施設、車両及び社員を総合的に活用して輸送の安全を確保しております。

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

グループ行動指針

- (安全) 私たちは、安全・安心を第一に行動します。
- (接客) 私たちは、あいさつを励行し、お客様の立場にたって行動します。
- (成長) 私たちは、絶えず自己革新し、新たな価値を創造します。
- (企業倫理) 私たちは、すべての人を大切にし、法令・規則を遵守します。
- (環境) 私たちは、自然環境に配慮し、行動します。

2. 2024年度 安全方針・安全目標・安全重点施策

輸送の安全の確保を図るために、社長自らが関係法令等の遵守、安全最優先の原則を社員に徹底するよう求めるべく安全方針を策定しております。また、安全方針に従い、重要で優先的に取組むべき具体的な課題を安全重点施策として策定し、各部門においては安全重点施策に基づいた取組み計画を作成し、輸送の安全の確保に向け尽力しております。また、安全方針に沿った明瞭な安全目標を掲げることで、安全重点施策に係る各取組みの促進を図っております。

安全方針・安全目標・安全重点施策については毎年度見直しを行い、必要に応じ変更しております。

安全方針

- 安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努めます。
1. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正・忠実に職務を遂行します。
 2. 事故・災害等が発生したときは、速やかに安全かつ適切な処置をとります。
 3. 常に向上心を持ち、必要な工夫・改善に努め、安全かつ快適な環境を提供します。

安全目標

- ・いつもと異なる現象が認められたら、ためらわず、速やかに報告しよう
- ・守らなければならないルールは、確実に教えよう

安全重点施策

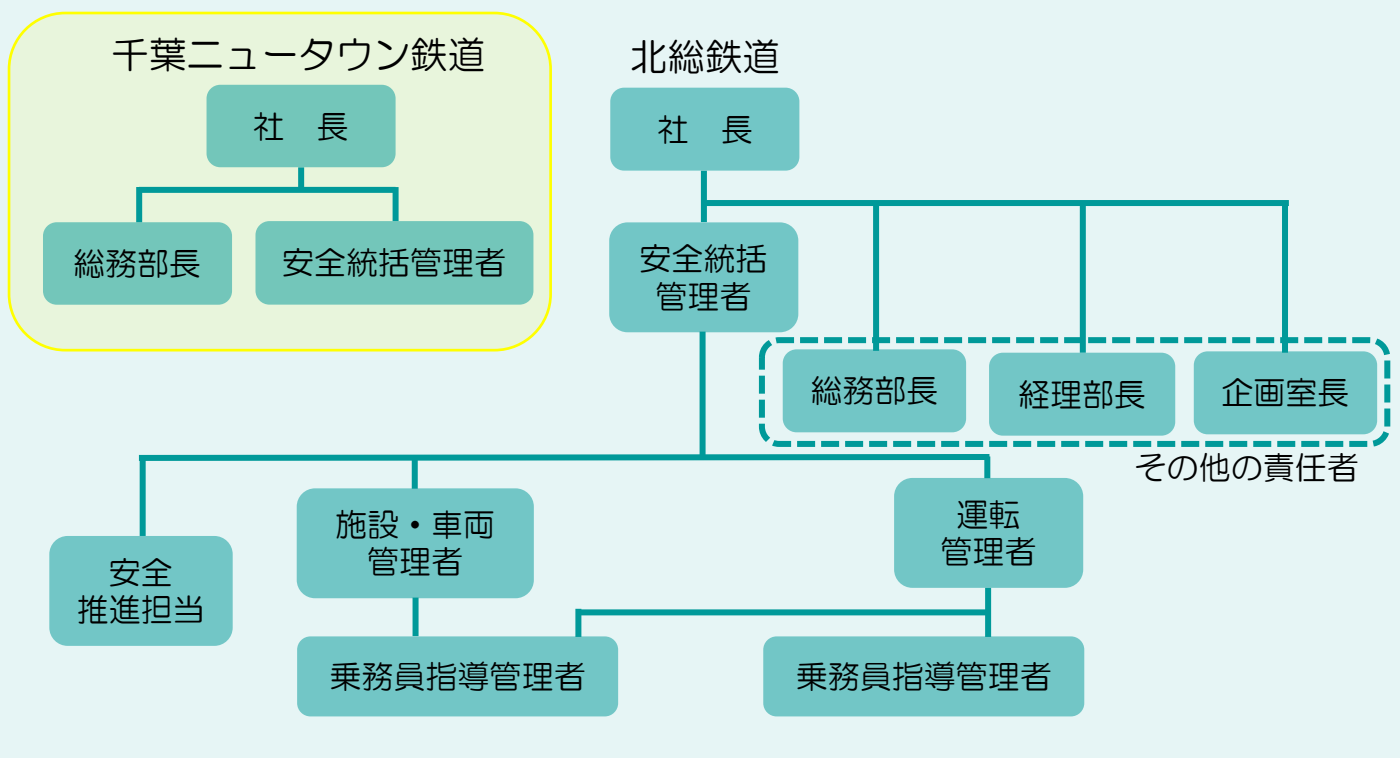
- (1) 安全管理体制の強化
 - ① 事故やヒューマンエラー撲滅への取組みの徹底
 - ② 報告しやすい職場環境の構築
 - ③ 協力会社に対する社員と同等レベルの安全情報共有
 - ④ 安全に関する内部監査の充実
 - ⑤ 安全文化の構築・定着に向けた教育の実施
 - ⑥ 京成電鉄をはじめとする関係機関との連携
- (2) 鉄道施設の安全性向上及び老朽化対策の推進
 - ① 安全に関する設備投資の実施
 - ② 激甚化する自然災害への備え
 - ③ 老朽化施設の計画的な補修・更新の実施及び計画策定
- (3) 鉄道テロ・列車妨害行為への対応強化、及びホーム安全対策の実施
 - ① 鉄道施設に対する監視機能の強化
 - ② 関係機関との連携強化
 - ③ お客様と連携した安全対策の取組みの実施（声かけサポート等）
- (4) 異常時の対応強化
 - ① 異常時の迅速な情報伝達の実施
 - ② 災害・事故事例の検証と対策



3. 安全管理体制

北総鉄道並びに千葉ニュータウン鉄道の「安全管理規程」では、輸送の安全を確保するために遵守すべき事業の運営方針、事業の実施及び管理の体制、方法を定めることにより、安全管理体制を確立しております。

安全管理体制の主な管理者の体制図



管理者の役割

北総鉄道

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運転管理者	安全統括管理者の指揮のもと、運転に関する事項を統括する
施設・車両管理者	安全統括管理者の指揮のもと、鉄道施設及び車両に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	運転管理者または車両管理者の指揮のもと、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する
安全推進担当	安全管理体制が適切に運営されていることを検証する
その他の責任者	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務等に関する事項を統括する

千葉ニュータウン鉄道

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
施設管理部長	安全統括管理者の指揮のもと、鉄道施設に関する事項を統括する
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務等に関する事項を統括する

4. 安全管理方法

社長自らが輸送の安全を確保するための各取組みに主体的に関与し、関係法令等の遵守や安全最優先の原則を全社員に周知徹底させるため、現業職場との関わりを積極的に持ち、本社と現場が一体となった「PDCA サイクル」による継続的な見直しや改善を行うことで、安全管理体制の強化を図っております。



社長、安全統括管理者等の巡視

交通安全運動や輸送安全総点検等の期間に、社長や安全統括管理者をはじめとする全役員が現業職場等の巡視を行い、現場の状況や輸送の安全を確保するための取組み状況を確認するとともに、現業社員との対話等を通じて安全に関する意識の高揚を図っています。



安全管理体制の評価(マネジメントレビュー)

年度ごとに安全管理体制の構築・改善の状況を上期末及び年度総括の2回振り返り、当社の安全管理体制が適切に運営され有効に機能しているかを社長が評価しています。この評価により必要に応じて安全管理体制の見直しや改善を図っています。



安全に関する内部監査

安全管理体制が適切かつ有効に運用されているかを検証するため、社長・安全統括管理者をはじめとする、安全管理体制上の各管理者を対象に安全に関する内部監査を計画的に実施しています。

また、日本民営鉄道協会主催の「運輸安全マネジメント内部監査員研修」修了者を監査員としているほか、京成グループの鉄道各社が同席し、監査終了後に意見交換を行い、内部監査の質を向上させるとともに、継続した見直しや改善を図っています。



安全推進会議

安全管理規程に基づき、事故やヒューマンエラーの撲滅や更なる輸送の安全性を向上することを目的に、当社の安全統括管理者を議長に、運輸・技術部門の管理職を構成メンバーとして毎月開催しており、安全に関する様々な施策等（事故等の報告・分析及び再発防止策の討議・他社事故事例の情報共有等）について討議しています。



ヒヤリ・ハット

日頃から社員・協力会社に対してヒヤリ・ハット情報の提供を呼びかけ収集に努めています。収集したヒヤリ・ハット情報は、安全推進会議において毎月報告し情報共有を行うとともに有効な対策の検討についても議論しています。また、収集したヒヤリ・ハット情報の全てを社内イントラに掲出する等して、誰でもいつでも見られるようにし、事故等の未然防止に役立てています。

コミュニケーション

安全統括管理者と運輸部・技術部の現業長との意見交換会のほか、運輸部・技術部では本課と現業長を交えた定例会議（部・課内会議）を毎月開催し、必要な情報の共有や各現業における課題などについての意見交換を実施するなど、本社と現場双方向でのコミュニケーションの強化を図っています。

協力会社と一体となった安全管理体制

運輸部及び技術部では、協力会等を通じてそれぞれが関係する協力会社社員と輸送の安全確保に係る必要な情報共有を行うとともに安全衛生に関する事項について啓発するなど横断的な情報交換を実施し、安全のための取組みに対する理解を深めるなど、協力会社と一体となった安全確保に努めています。



安全共育会（運輸部）



安全推進協力会（技術部）



5. 列車の安定輸送を実現するための取り組み

列車の安定輸送を目的として、運輸指令所において一括して全列車の運行管理を実施しております。また、鉄道施設及び車両について所定の機能を維持・発揮できるよう定期的な点検及び検査を実施し、安全で快適な環境を提供するため日夜整備に努めております。

列車の運行時間中にはできない点検等については、沿線住民の方のご理解、ご協力のもと深夜の時間に実施しております。

列車の運行管理

お客様に安心してご利用いただくため、総合指令所では全ての列車が安全、かつダイヤ通りに運行できるよう、システムによる自動制御と運輸司令の知見等により列車運行を集中管理しています。

また、列車を運行するにあたり必要な電力の受給電を電力司令が管理しています。



施設、車両の保守点検

技術部では、線路やトンネル、駅などの鉄道構造物や電気関係の信号機などの保安設備、変電所等の電気設備の保守、点検、北総管理車両全13編成の保守、点検を行っています。



レールの測定



鉄道信号の点検



パンタグラフの点検

社員の声（施設区長）

私たち施設区は、最大の使命である輸送の安全を確保するため、主に線路や土木構造物などの鉄道施設の検査・点検・修繕に関する業務を担当しています。業務にあたっては、知識・技能の向上等工夫・改善に努め、お客様に安全、快適な輸送を提供するとともに、いざまさかの事故災害時に迅速な対応が取れるよう、異常時対応訓練等を重ねて、「PDCA サイクル」による改善を図っています。

これらの取り組みにより開業以来の「有責事故 0」を継続し、安全・安定輸送に貢献してまいります。



6. 安全確保に対する取り組み

お客様に安心して快適に鉄道をご利用いただけるよう安全対策への投資を行い各種設備の整備や自然災害に備えた各種対策も進めております。

安全・安定輸送を図るために安全重点施策等に基づき、優先度の高いものから順に設備改良を行い設備保全に努めております。現在は、列車運行の安全性向上のため、全線のC-ATS化（高機能自動列車停止装置）に向けた工事を実施しております。

安全への投資

毎年度、下表の通り鉄道事業における安全対策に対して投資を行っています。

安全に対する設備投資金額

（単位：百万円）

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
北総鉄道	1,069〔68%〕	846〔63%〕	924〔64%〕
千葉ニュータウン鉄道	547〔89%〕	894〔94%〕	665〔98%〕

〔 〕内は全体の鉄道事業設備投資額に対する安全関連設備投資額の割合

※2023年度の投資金額については、C-ATS化工事の進捗に伴い、北総鉄道で減少し、千葉ニュータウン鉄道で増加している。

駅の安全対策設備

列車非常停止装置

お客様が線路内に転落した時や線路内に障害物を発見した場合、ホーム上の「非常停止ボタン」を押すことにより、近くを走行中の列車の乗務員に異常を知らせ、列車を自動的に緊急停止させます。また、お客様に非常停止ボタンの設置箇所が一目でわかるよう、赤白ゼブラテープや看板を設置するとともに使用方法についてポスターを掲示しています。



ポスター



看板



非常停止ボタン

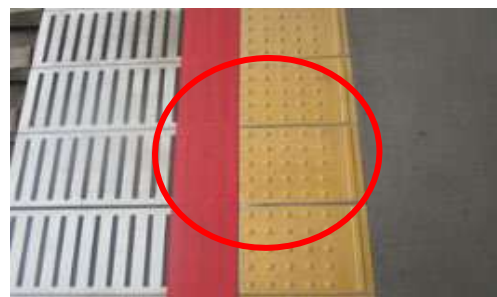


列車停止表示灯

内方線付き点状ブロック

目の不自由なお客様がホームから転落するのを防止するため、全駅のホームに「内方線付き点状ブロック」を設置しています。点状ブロックの内側に線状の突起がついていることで、ホームの内外が判別できるようになっています。

また、「内方線付き点状ブロック」の外側に赤ラインを引き、視覚的・心理的にホーム端部の危険性を訴え、注意喚起を行っています。



通過列車注意表示

駅ホームの狭小部床面に警戒ライン及び「列車に注意！」を表示し、お客様への注意喚起を行っています。また、必要な箇所に手すりを併設し、ホーム上のお客様の安全性の向上を図っています。



車掌用 I TV (車掌用監視モニター)

車掌が列車を出発させる際に、扉やホームの安全を確認するため、「車掌用 I TV」を設置しています。



ホームベンチの向きを変更

ホームのベンチを線路に対し、垂直に設置することでホームからの転落事故防止に効果があることから、ベンチの向きを変更する取組みを進めています。



カラーユニバーサルデザイン対応の列車案内表示器

当社では駅ホーム上の列車案内表示器を色弱者のお客様にも認識しやすいカラーユニバーサルデザイン（CUD）の表示器を導入しています。2024年度末時点では印西牧の原駅、小室駅で当該表示器を既に導入しています。
※当該表示器は CUD 検証に合格し「CUD マーク」を貼付けています。



小室駅のCUD対応列車案内表示器

駅施設のバリアフリー化

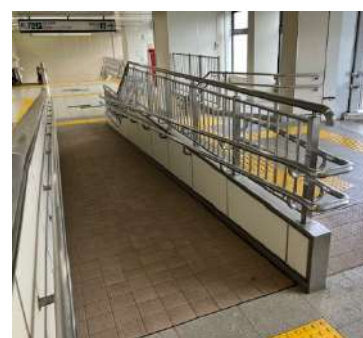
ご高齢者やお身体の不自由なお客様が安全・快適に駅施設をご利用いただけるよう、車いす対応のエレベーターや多機能化粧室等を全駅に設置しています。



車いす対応のエレベーター



多機能化粧室



車いす用スロープ



目の不自由なお客様へのご案内

国土交通省の旅客施設における音声による移動支援方策ガイドラインに基づき、お客様及び目の不自由なお客様を券売機、改札口、階段、エスカレーター、エレベーター、トイレ等へ音声で案内誘導するための音声誘導装置及び駅構内配置を示した触知図を全駅に設置しています。



AED（自動体外式除細動器）

安全に安心してご利用いただける駅を目指し、各駅改札口付近にAEDを全駅に設置しています。なお、駅係員・乗務員においては応急手当や救命措置が適切に行えるよう普通救命講習等を受講しており、いざというときは速やかな対応が取れるようにしています。



車両の安全対策設備

非常通話装置

列車内で非常事態が発生した場合等に備え、乗務員に通報・通話することができる非常通話装置を各車両に設置しています。また、お客様に非常通話装置並びに消火器の設置場所をご案内するため、各車両に非常設備のご案内を掲示しています。なお、各標記については同業他社で発生した事件を受け制定された「車内非常設備等の表示に関するガイドライン」に対応しています。



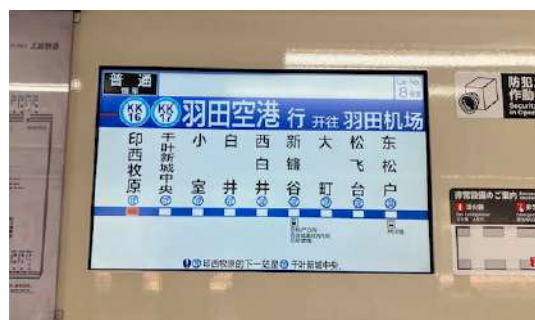
非常通話装置



非常設備のご案内ステッカー

車内案内表示装置

車内案内表示装置は各車両に設置され4カ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)による行き先や停車駅案内のほか、安全啓発に関するお知らせや事故災害等異常時の際には状況に応じた情報提供を2カ国語(日本語・英語)で表示できる機能を搭載しています。



乗降扉の注意喚起シール

ドア開閉時のお客様の引込み・挟まりを防止するため、各車両の全ての乗降扉に扉端部を容易に認識できる注意喚起テープを貼付しています。



非常梯子

異常時に列車が駅間で停車した場合など、お客様が安全に降車できるよう、列車内及び全駅に非常梯子を配備しています。



転落防止用幌

各車両連結部の隙間に、お客様が誤ってホームから線路上へ転落しないように、転落防止用幌を設置しています。



運転士異常時列車停止装置

運転士の体調が急変した場合等に備え、ハンドルから手が離れると非常ブレーキが動作する装置を全ての運転席に設置しています。



車内放送

タブレット端末を使用し、通常の次駅停車案内等を2カ国語(日本語・英語)で行うとともに、成田空港方面への乗換案内を4カ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)で行っています。また、事故発生時等の異常時にも4カ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)での案内が可能で、訪日外国人のお客様へスムーズな案内を行うことができます。



タブレット端末を操作する車掌

車内点字案内表

目の不自由なお客様に対し、車内の乗車位置が確認できるよう、全車両の全ての乗降扉内側に「乗車車両の位置」及び「ドアの位置」の点字表示を行っています。



車いす、ベビーカースペースの設置

車いす、ベビーカーをご利用のお客様が混雑時にも利用できる専用スペースを設置しています。



その他の取組み

自殺予防に関する啓発活動

厚生労働省で行っている自殺予防の啓発事業について列車内にポスターを掲出しているほか、ウェットティッシュを作成し、駅での啓発活動時に配布するなど、自殺予防の啓発を広く周知する取組みを行っています。なお、秋山駅での啓発活動は沿線の千葉県立松戸向陽高等学校と共同で実施しました。



秋山駅の啓発活動



配布したウェットティッシュ

「声かけ・サポート」運動

「声かけ・サポート」運動は、お客様に鉄道を安全に安心してご利用いただけるよう、お困りのお客様に社員等から積極的に声をおかけするとともにお客様からもお声かけにご協力いただく取組みです。

2024年度は当社オリジナルのポケットティッシュを作成し、駅でお客様に「声かけ・サポート」のご協力を呼び掛ける際に配布しました。



千葉ニュータウン中央駅のポケットティッシュの配布



配布したポケットティッシュ



でんしゃ安全マナーきょうしつ

北総線の地域と連携を図る取組みの一環として、秋山駅を通学利用する聖徳大学附属小学校の新一年生に駅や電車内でのルールや安全マナーを教える「でんしゃ安全マナーきょうしつ」を行っています。この取組みは毎年行っており、2024年度も当社の駅長や駅係員が新一年生に授業を行いました。



ルールや安全マナーを教える駅係員



授業風景

安全に関する取組みの広報

安全に関する取組みを広くお客様に知っていただくため、列車内及び駅構内へのポスター掲出やノベルティグッズを作成し当社イベント等で配布したほか、公式X（旧：Twitter）やデジタルサイネージ等を活用しました。



列車内ポスター



配布用ノベルティグッズ
(乾麺そば)



配布用ノベルティグッズ
(瓦せんべい)

社員の声（千葉ニュータウン中央駅務区長）

千葉ニュータウン中央駅務区は、お客様に安全、安心に電車をご利用いただけるよう業務に努めております。

ホームからの転落事故防止を目的として、視覚障害をお持ちのお客様をお見かけした際は、お声かけをするとともに、列車への乗降の誘導案内を実施しています。「声かけ・サポート」運動では、お困りになっているお客さまへ駅係員よりお声かけをするだけでなく、啓発活動を行い、ご利用のお客さまにもお困りの方に対して助け合いのご協力を呼びかけています。



7. テロ・防犯対策の取組み

鉄道におけるテロ等の犯罪未然防止策として、駅構内及び列車内の巡回警備を強化するとともに、防犯設備の充実を図っているほか、万一来臨し、警察をはじめとした関係機関と連携強化を図っております。

また、お客様への不審物(者)発見に関する協力の呼びかけを実施しております。

テロ等防犯対策

駅係員等による巡回

駅係員や警備員及び本社社員による警備腕章を着用した駅構内・列車内の巡回を行い、不審物(者)への警戒のため「見せる警備」を実施しています。

また、沿線警察署にも駅構内を含めた鉄道施設の警戒強化を依頼しています。



防犯カメラの設置

駅構内、列車内をはじめ、主要な施設に防犯カメラを設置し、テロや犯罪行為等の未然防止を図っています。



駅構内コンコースの防犯カメラの設置



列車内の防犯カメラの設置



駅ホームの防犯カメラの設置



テロ等に関する防護用品

鉄道施設内で傷害事件が発生した際には、駅係員・乗務員が安全にお客様を避難誘導できるよう防護盾・さすまた・防刃手袋を列車及び駅に配備しています。



駅配備のさすまた



駅・列車配備の防護盾・防刃手袋

警察・消防との連携

テロ等に関する講演会

警察の方が講師となり、テロ等の鉄道妨害行為の事例紹介及び対策等についてご講演いただき、当社社員の防犯に対する知識と意識の高揚を図っています。また、駅構内における警備状況を警察の方が確認し、駅の防犯についてご指導いただくなど、テロ等の鉄道妨害行為の未然防止に努めています。



テロ対策講演会



新鎌ヶ谷駅の自主警備状況の点検

テロ等に関する講習

沿線の警察と合同で実際の駅で講習等を実施し、緊急時には円滑・迅速な対応をとれるように努めています。



乗務員の車内護身講習



駅係員に向けた護身講習



テロ等に関する対応訓練への参加

新鎌ヶ谷駅では毎年度、鉄道3事業者（東武鉄道、新京成電鉄（現京成電鉄）、北総鉄道）、並びに鎌ヶ谷警察署・鎌ヶ谷消防本部・鎌ヶ谷市で、テロ等の対応訓練を合同で実施しています。



駅係員による不審者対応



消防による不審者対応



警察による不審者対応講習

お客様への不審物(者)発見に関する協力の呼びかけ

駅構内及び列車内における不審物(者)の早期発見のため、お客様への協力依頼の啓発放送や駅表示器・ポスターによる呼びかけを実施しているほか、駅構内等で従事している協力会社社員もワッペンを貼り業務を行っています。また、車両の各乗降扉に不審物(者)発見時の鉄道係員への通報をお願いするステッカー（日本語・英語）を貼る等、鉄道テロ等の未然防止に取り組んでいます。



お客様への協力依頼ポスター



協力会社社員着用ワッペン



列車内のステッカー



8. 災害対策

災害対策設備

耐震補強

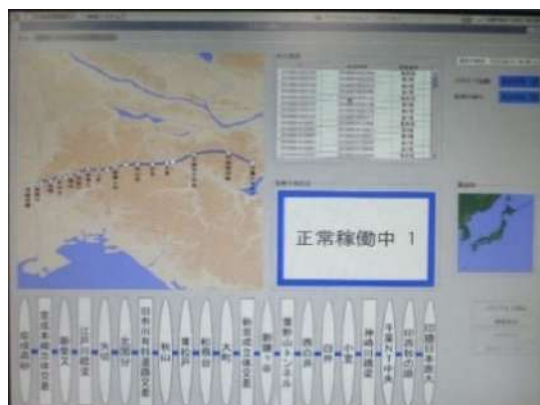
首都圏直下地震等の大規模地震に備え、トンネルや高架橋の柱の耐震補強や橋梁の落下防止等、構造物の耐震補強を行い、より地震に強い鉄道施設になっています。



矢切駅 耐震補強された柱

早期地震警報システム

気象庁が発表する緊急地震速報を利用した早期地震警報システムを導入し、地震による被害の抑制を図っています。



気象観測総合システム

運輸指令所に、気象観測総合システムを配備し、当社線に整備された気象観測装置（地震計 3 箇所、風速計 4 箇所、雨量計 3 箇所、レール温度計 3 箇所）から送信された観測データを監視しています。運転規制を伴う規制値を観測した場合、速やかに乗務員へ運転規制を指示し、異常気象時における列車運行の安全確保に努めています。

路線図	状況一覧	気象観測	異常観測	地震観測	気象観測	大雨	大雨	設定変更
路線図	路線図	地震計	風速計	雨量計	温度計	大雨	大雨	設定変更
地震計	地震計	風速計	雨量計	温度計	大雨	大雨	設定変更	
風速計	風速計	雨量計	温度計	大雨	大雨	設定変更		
雨量計	雨量計	温度計	大雨	大雨	設定変更			
温度計	温度計	大雨	大雨	設定変更				

監視用 PC 画面



地震計



風速計



雨量計



緊急自動車

異常時、速やかに点検・復旧を行うため、緊急自動車を3台保有しており、大規模災害等の発生時に通行禁止区間等の走行が可能になる「緊急通行車両」の届出も行っていきます。また、駅間で列車が停止した場合等に備え、「軌道自転車」を駅に配備し、係員が速やかに現場に駆け付けられる体制を整えています。



緊急自動車

災害発生時の取組み

防災訓練

毎年、震度5クラスの地震が発生したことを想定した防災対応訓練を実施し、早期復旧に向け現場や関係機関との情報伝達が迅速かつ的確に行われることを確認しています。



訓練時の対策本部

地下駅の火災、停電対策

地下駅である矢切駅では火災・停電等の対策として、排煙設備、非常用発電機、屋内消火栓設備等を整備しています。ホームには避難経路図を設置し万一の事態に備えてお客様にお知らせしています。また、駅係員による消防設備の取扱い訓練を毎年実施しています。



避難経路図



消防設備取扱い訓練



お客様用備蓄品の配備

大規模災害時等で帰宅が困難なお客様のために、駅に備蓄品（飲料水、食料、アルミブランケット、簡易トイレ）を配備しています。

緊急時支援活動用ワッペン

社員が通勤や私用で当社線を利用しているときに、事故や災害等に遭遇し、急遽現場で支援活動を行う際、北総鉄道の社員であることを判別できる目印です。社員は常時このワッペンを携帯し、緊急時には胸元に貼り、支援活動を行います。



運行状況の情報配信

運行情報は北総鉄道ホームページや運行情報ディスプレイ(全駅改札入り口付近に配置)、公式X(旧: Twitter)等を通じてお客様へ案内しています。また、「列車走行位置」の情報提供をWEB上で行っています。



運行情報ディスプレイ



「列車走行位置」WEB上の画面

※「列車走行位置」のURL、QRコードは、こちら



<https://zaizen.tid-keisei.jp>

その他の取り組み

イオンモール千葉ニュータウン店が開催している防災展に出展し、防災に関するパネル展示や駅の列車非常停止装置の取扱い方について模擬装置を用いて説明を行いました。



9. 安全に関する教育等

教育

事故・災害等発生時において迅速・適切な対応がとれるよう、当社の乗務員や駅係員及び技術係員の知識・技能・技術の維持向上を目的に、座学での教育に加え、実際の車両や鉄道設備を使用した教育を定期的実施しています。

乗務員への教育



入換合図



列車の併合

駅係員への教育



沿線電話の取扱い



手回しによる転てつ器の取扱い

技術係員への教育



排水ポンプの取扱い（施設区）



レールボンドの取付け（電気区）



車両の脱線復旧（車両区）



訓練

異常時対応訓練

北総線内で事故・災害が発生した場合の早期復旧に向けた初動対応及び関係機関との連携強化を目的に、毎年、全社的に訓練を実施しています。

2024年度は、当社社員と災害発生時に復旧作業を行う協力会社と連携し、大型台風が直撃し、北総線で大雨、暴風による倒木等により電車線の断線や軌道の支障を想定した現場復旧訓練を行うなど、災害発生時のお客様の避難誘導や早期復旧について訓練を実施しました。



軌道を支障した倒木の撤去作業



断線した電車線の復旧作業

スカイライナー異常時合同訓練

2024年度は京成電鉄株式会社と合同で異常時の対応訓練を実施しました。これはスカイライナー、アクセス特急は、北総線内も京成電鉄の乗務員が運転しているため、異常時には会社間を跨ぐ連絡及び対応が必要となるためです。北総鉄道及び京成電鉄の社員以外にも印西警察署、印西地区消防組合等の関係機関も参加し実施しました。

訓練では走行中のスカイライナー車内で、不審物から液体が漏れ、異臭が発生したことを想定して、消防と連携した車内のお客様の救助や避難誘導を実施しました。



消防による列車内の不審物対応



負傷したお客様を車外へ搬送



研修

当社の社員の安全に対する意識活性化を図るため、他社の安全教育施設や鉄道事故関連施設等へ訪問しました。2024年度はJR東日本総合研修センターや東京メトロの安全繋想館へ訪問し過去に発生した事故や災害の被害とその復旧についてお話を伺いました。

また、三河島浄正寺に訪問し1962年に発生した三河島事故当時の状況についてお話を伺いました。



JR東日本総合研修センターの「安全体験研修」

講演会

当社の社員の安全に対する意識活性化を図るため、2005年JR福知山線脱線事故で重傷を負い、その後もPTSDなど様々な困難と向き合ってきたピラティス講師の浅野千通子さんから自身の体験を基にご講演いただきました。



乗務員への指導と健康状態の確認

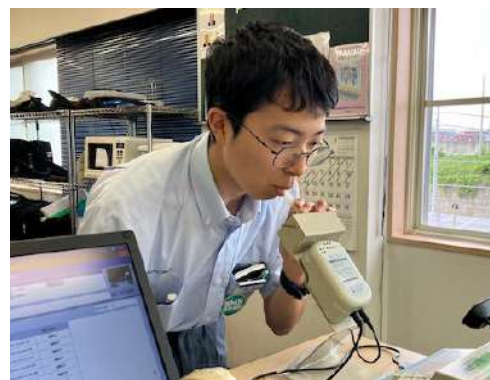
乗務員への添乗指導

管理職による乗務員の添乗指導を行い、指差確認喚呼等、基本動作の実施状況を確認しています。



乗務員の健康状態の確認

乗務前に写真記録付きアルコール検知器を使用し、酒気を帯びていないことを確認後、点呼執行者との対面点呼により健康状態の確認を行っています。また、SAS(睡眠時無呼吸症候群)スクリーニング検査を実施し、SASと疑われる場合には医師の診療を受けています。



その他

施工管理者資格の発行

一定以上の経験、知識・技能を有する協力会社の従事員に、施工管理責任者資格の発行を行い、当社社員と同等の軌道内作業、夜間作業時の施工管理を行っています。

施工管理責任者の有資格者に対しては、鉄道従事員教育を年1回、更に知識・技能の保持を確認するための資格更新の講習を3年ごとに実施しています。

サービス介助士の資格取得

高齢のお客様やお体の不自由なお客様をはじめ、全てのお客様に安心してご利用いただけるよう、「サービス介助士」を駅係員は取得しています。2024年度末現在、全ての駅係員が取得しており、「サービス介助士」と明記した胸章を着用しています。

※『サービス介助士』とは、NPO法人「日本ケアフィットサービス協会」が認定する資格です。



「サービス介助士」の研修の様子



「サービス介助士」と明記した胸章

盲導犬ユーザー等対応講習

毎年、駅係員及び関係社員を対象に盲導犬ユーザーや視覚障がい者の方を講師に迎え、お声掛けやご案内などの対応について講習を実施しています。



車内の講習の様子



駅ホーム上の講習の様子



10. 事故等の発生状況

2024年度においては、鉄道運転事故及びインシデントは以下の通りとなりました。
今後もお客様に安心してご利用いただけるよう、安全・安定輸送に向けて取組んでまいります。

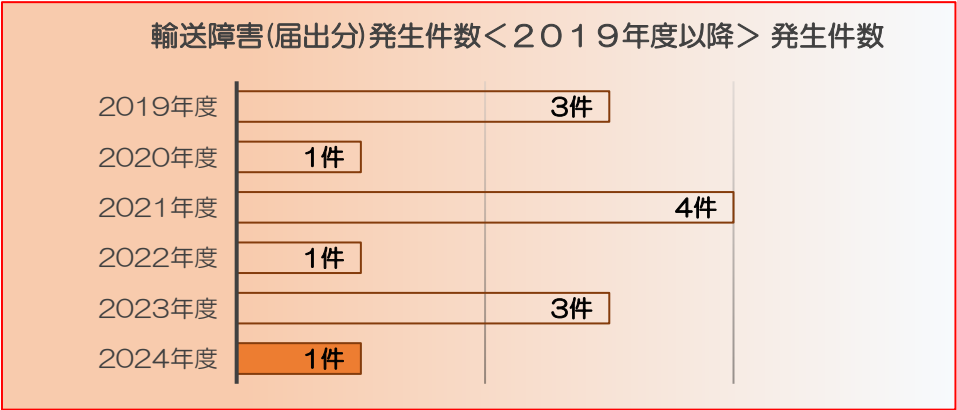
鉄道運転事故

2024年度においては、鉄道運転事故は発生していません。

鉄道運転事故・・・国土交通省令に定められた、以下に該当する事故	
列車事故	列車衝突事故、列車脱線事故および列車火災事故
踏切障害事故	踏切道において、列車または車両が道路を通行する人または車両等と衝突し、または接触した事故
鉄道人身傷害事故	列車または車両の運転により、人の死傷を生じた事故
鉄道物損事故	列車または車両の運転により、500万円以上の物損を生じた事故

輸送障害

2024年度の関東運輸局への届出対象となる輸送障害は4月に白井駅で発生した死傷事故1件で、2023年度と比較して2件減少しました。



輸送障害・・・鉄道による輸送に障害を生じた事態であって、鉄道運転事故以外のもの
関東運輸局への届出対象となる輸送障害・・・以下に該当するもの
・ 3時間以上本線における運転を支障すると認められるもの
・ 特に異例と認められるもの
・ 列車に運休（告示で定めるものを除く。）または30分以上の遅延が生じたもの

インシデント

2024年度においては、インシデントは発生していません。

インシデント・・・鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態のこと

11. ご利用のお客様へのお願い

電車を安全にご利用いただくために

1. 線路内に立ち入らないでください

線路内は大変危険です。絶対に立ち入らないでください。

2. かけ込み乗車はおやめください

かけ込み乗車は、列車遅れの原因となるだけでなく、思わぬケガや事故にもつながり、大変危険です。余裕をもったご乗車をお願いいたします。



3. ホームでは黄色い点状ブロックの内側をお歩きください

列車から降車されたお客様が、ホームを歩行中に転倒し発車直後の列車に接触する事故や線路に転落する事故が発生しております。ホームでは列車から離れ、黄色い点状ブロックの内側をお歩きください。

4. 駅やホームでの「ながら歩き」はおやめください

歩行中にスマートフォン等を操作する「ながら歩き」は、お客様同士の接触やホームから線路への転落のおそれがあり、大変危険ですのでおやめください。



5. 転倒、転落にご注意ください

ご高齢のお客様や酔ったお客様の階段やコンコース等での転倒並びにホームから線路への転落が発生しております。ホームから線路への転落を発見した場合は、直ちに、お近くの「非常停止ボタン」を押し、絶対に線路に降りないでください。

6. 戸袋に手を引き込まれないようにご注意ください

ドアが開く際は、お子様の手やカバン等が戸袋に引き込まれないようにご注意ください。

7. 持ち込みを禁止する危険物がございます

駅及び車内への危険物の持ち込みは法令等により禁止されています。お客様の安全のため、手荷物の点検をお願いすることがございます。



8. 不審物を発見した場合はお手を触れずにお知らせください

駅構内や車内で不審物を発見された場合は、お手を触れずにお近くの駅係員・乗務員、または警戒中の警備員にお知らせください。

9. エスカレーターご利用のお願い

エスカレーターをご利用になる際、転倒や他のお客様と衝突し転倒させるなどの事象が発生しています。エスカレーターでは立ち止まり、手すりにつかまりご利用ください。



10. お声かけサポートのお願い

お困りになられている方をお見かけになられた場合は、お声かけにご協力をお願いいたします。



安全報告書に関するお客様のご意見をお寄せください

北総鉄道ホームページ内の「ご意見・ご要望フォーム」まで

【ご意見・ご要望フォーム(QRコード、URL)】



<https://www.hokuso-railway.co.jp/contact-comment>



北総鉄道株式会社
Hokuso- Railway Co.,Ltd.

千葉ニュータウン鉄道株式会社
Chiba Newtown Railway Co.,Ltd.

編集・発行:北総鉄道株式会社 安全推進担当
2025年6月発行